



# 輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



## さよなら ウパ吉 ～今までありがとう～

北小のアイドル、校長室前で飼っていたウパールーパーが天に召されました。いつから北小にいるのか、何歳になるのか不明なところも多いのです。10年近くは北小にいるのは間違いないようでとても長生きしていました。創立150周年キャラクター「ウパ吉」が誕生してからは、このウパールーパーを「ウパ吉」と呼ぶ子が増え、これまで以上に人気者になっていました。しかし、このところほとんど動かなくなり、餌も

食べていなかったことから子どもたちも、職員も心配していました。

「校長先生、ウパールーパーの様子がおかしいです。」

「ウパ吉がひっくり返っています。」

子どもたちは何度となく校長室に連絡してくれていました。土日も教頭先生が様子を見にきてくれましたが、ほとんど動かない状態でした。そして、12日月曜日の朝、「死」を受け入れました。なんとなく顔は笑っているようにも見えました。

一刻も早く子どもたちに伝えようと、8時前に校内放送でウパールーパーの死を伝えました。すると、子どもたちはすぐに校長室前に来てくれました。その後もひっきりなしに最後のお別れにやってきました。手を合わせていたり、じっくりと顔をのぞき込んだり……。お別れのお手紙を書いた子もいました。子どもたちのやさしさを感じるとともに、こんなにも愛されていたんだとあらためて感じました。

13日の昼休みに、こだま池のそばに埋めてあげました。放送で埋葬することを伝えると多くの子が最後の別れにやってきました。一人一人ウパ吉の前で手を合わせたあと、みんなで校歌を歌ってお別れをしました。6年生には代表で土をかけてもらいました。お別れの手紙等も一緒に埋めました。

ウパ吉、本当に今までありがとう。そして、ゆっくり休んでね。

子どもたちにとっても、私たち大人にとっても「死」と直面する機会は多いことではありません。そして、身近であればあるほどショックも大きいものになります。「死」は避けては通れないことでもあります。その分「生」の大切さ、命の尊さを考える機会にもなり得ると考えます。この機会にぜひ、ご家庭で「生と死」「命」についてちょっとでも話していただければと思っています。ウパ吉の供養も兼ねて……。



**保護者の皆様からの声をお待ちしています。**

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または [assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp](mailto:assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp) まで）～

----- 切り取り線 -----

